

令和8年度 収蔵資料展

[umi-Trip 3] うみ鳥っ

ウミウと渡る

日本列島縦断紀行

身近な海鳥「ウミウ」を
GPSで追跡してみたら・・・

学芸員も知らなかった。
ウミウがこんなに
おもしろかったなんて。

令和8年

2026

7.11 SAT ▶ 11.15 SUN

船の科学館
海の学びミュージアムサポート
Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



千葉県立中央博物館 分館

海の博物館

【開館時間】 9:00~16:30(最終入館16:00)
【休館日】 月曜日(休日の場合は翌平日)
【入場料】 一般 200円 / 高大生 100円 / 中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方及び介護者1名 無料
【交通案内】 ■JR外房線 鶴原駅から徒歩約15分 / 勝浦駅からタクシー約10分 /
勝浦駅から小湊鐵道バス「ミレーニア勝浦」行「海中公園・海の博物館」停留所下車すぐ
■駐車場 8:30開場 / 普通車2時間まで200円 / 障害者手帳をお持ちの方及び介護者 無料

〒299-5242 勝浦市吉尾123 / TEL 0470-76-1133 / <https://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>



海の博物館
公式サイト

ウミウと渡る 日本列島縦断紀行



若いウミウの群れ（右端はGPS追跡個体）



国指定重要無形民俗文化財「気多の鵜祭の習俗」



国指定天然記念物「壁島ウ渡来地」

想像を超えるウミウの渡り

GPSによるウミウの長期追跡が成功したのは、つい最近のことです。その行動は、学芸員も驚くものでした。春になったのに北に帰らない、海鳥なのに内陸を突き進む、ついには標高3,000m級のアルプスへ。——旅の続きは、海の博物館で！

今、ウミウがどこにいるのか

本展示の開催に合わせてウミウの捕獲を試みます。もし成功した場合には、GPSを装着し、まさに追跡中の個体の位置情報を展示室で速報します。データ収集の現場を感じ、研究の厳しさやおもしろさを、学芸員と共有しましょう！

津々浦々のウミウと人のかかわり

列島各地に伝わる、ウミウにまつわる文化。平安時代から続く「鵜飼」はその代表です。漁業、観光、信仰、芸術…、様々な場面で見られるウミウと人の物語を紹介します。

■ イベント

※各イベントの会場・申込方法等の詳細は、「うみ鳥っぷ3」公式ウェブサイトでご確認ください。

講座「ウのお絵かき教室」

令和8年 8月11日（火・祝） 13:00-15:00
科学イラストレーター・箕輪義隆氏を講師に迎え、ウの特徴と描き方を学びます。

講座「すごいぞ！ ウミウの渡り」

令和8年 9月26日（土） 13:00-15:00
GPSでウミウのTripを追跡！ 研究の最前線へご案内します。

講座「鵜飼のはなし」

令和8年10月31日（土） 13:00-15:00
ウミウを用いた日本の伝統漁法「鵜飼」の世界をご紹介します。

観察会「ウのねぐら鵜オッチング」

令和8年12月12日（土） 15:00-17:00
勝浦市の鵜原海岸にあるウミウとヒメウの集団ねぐらを観察します。

■ 巡回展示

※各開催地向けに内容をアレンジした展示が巡回します。

うみ鳥っぷ3 in 我孫子市鳥の博物館

令和8年12月12日（土） ▶ 令和9年1月11日（月・祝）

うみ鳥っぷ3 in 銚子市ジオパーク・芸術センター

令和9年 1月16日（土） ▶ 2月14日（日）